

3歳未満が一律月額1万円に！

3歳未満の第一子・第二子は倍増！

平成19年4月から3歳未満児の養育者に対する児童手当が一律月額1万円に増額されました。

現在、児童手当を受けている方は、新たに手続きをする必要はありません。法改正により支給額が変わる方へは、6月の支払時に通知をします。

3歳以上の児童の養育者に対する児童手当		0歳以上3歳未満の児童の養育者に対する児童手当	
第3子以降	第1子第2子	第3子以降	第1子第2子
月額 1万円 (現行)	月額 5千円 (現行)	月額 1万円 (現行)	月額 5千円 (現行)
現行どおり		現行どおり	月額 1万円 (改正) (倍増)

※3歳未満の児童手当は一律月額1万円となりますが、3歳の誕生月の翌月からは、第1子および第2子の手当額は月額5千円に変わります。
※拡充後の最初の支給月は6月です。

児童手当制度とは

小学校6年生までの児童を養育している方に支給する手当で、家庭における生活の安定と児童の健全な育成に役立てることを目的とした国の制度です。

ご確認ください

今まで所得制限のため受給できなかった保護者の方なども、6月分からは平成19年度の所得状況によって改めて審査をしますので、要件を満たせば受給することができます。

6月分から受給するためには、5月中に認定請求の手続きをしてください。なお、ご自分で手続きをしないと受給することはできません。

支給対象

小学校6年生までの児童を養育している方に支給されます。ただし、所得に制限があります。前年(1月分から5月分までの手当については前々年)の所得が一定額以上の場合には、手当は支給されません(下表参照)。



平成19年4月1日から
児童手当制度が拡充されました

申請手続き

申請窓口は、市役所子ども家庭総務課または各支所保健センター(マキノ支所は、健康福祉センター)です。公務員の方は、勤務先になります。

詳しくはお問い合わせください。

子ども家庭総務課
☎(25)8136

所得制限限度額(平成19年度)

(平成19年6月分から20年5月分までの手当に適用)

扶養親族等の数	自営業者(国民年金加入者)	サラリーマン(厚生年金等加入者)
0人	460万円	532万円
1人	498万円	570万円
2人	536万円	608万円
3人	574万円	646万円
4人	612万円	684万円
5人	650万円	722万円

「あすくる高島」開設

今日、いろいろな問題を抱え、居場所もなく苦しんでいる子どもたちや少年が、事件を起こしたり、事件に巻き込まれたりしています。滋賀県では、そんな少年たちに、自分自身を見つめ直し、健やかに成長して自立していくことを支援していく事業として「あすくる」があります。県内にはこれまで8つの「あすくる」が開設されています。

今年度から高島市でもこの支援事業を高島市少年センターに拠点を置き行います。「あすくる」には、支援コーディネーター、心理臨床担当職員、教員、無職少年対策指導員が配置され、支援サポーターの協力を得て、①生活改善支援、②自分探し支援、③就学支援、④就労支援、⑤家庭支援の5つのプログラムを展開していきます。

市内の関係機関との連携を図りながら支援を進めるものですが、最も大切なことは、対象となる少年と保護者が、この支援プログラムに同意をして周りから言われてやるのではなく、自立目的の達成のために自ら進んで行うということです。もちろんプログラムは相談のうえ、決定していきます。

開設したばかりですが、悩みことや心配ごとの相談にのっています。どうぞ、お気軽にご相談ください。

あすくる高島 ☎(33)338824

継体天皇即位1500年記念事業

“謎の大王” 継体天皇と製塩実験

(古代の塩づくり体験)



〈国指定名勝旧秀隣寺庭園〉



〈日置前遺跡出土製塩土器（奈良時代）〉

古代においては、「鉄」と「塩」を手中に治めることが、大きな力を握ることにつながりました。

特に塩は、人間だけでなく、馬の飼育にも欠かせない生活の必需品でした。高島市は、古くから若狭と京を結ぶ交通の要所であったことから、継体天皇も、若狭・越前の特産である「塩」を入手していたのではないかと考えられます。

継体天皇即位1500年記念事業の第2弾は、「謎の大王」継体天皇と製塩実験」と題し、「塩」をキーワードに古代の謎に迫ります。

▼日時

6月2日(土)
9時10分集合 16時30分頃解散

JR安曇川駅

▼行程

朽木資料館で古代の塩づくり実験を行った後、湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部の案内で朽木の町並みを歩いて巡ります。

○JR安曇川駅⇨(バス)朽木グラウンド前⇨(徒歩)朽木資料館・朽木陣屋跡見学・古代の塩づくり実験(※塩づくり実験終了後昼食)⇨(徒歩)国指定名勝旧秀隣寺庭園⇨(徒歩)道の駅朽木新本陣⇨(バス)JR安曇川駅

▼参加費 2,000円

古代米の昼食代・資料代・環境整備費等を含む(別途バス代は自己負担)

▼定員 50人

申込締切 5月22日(火)
申込方法など詳しくはお問い合わせください。

継体天皇即位1500年記念事業実行委員会(商工観光課内)

☎(075)8514

よろしくお祈いします



くろせ たかあき
黒瀬高明 医師
(53歳)

《ごあいさつ》

高島総合病院産婦人科に過日着任しました。
確かな診断を基本として、安心安全な医療を提供できるよう日々努力してまいります。
どうぞよろしくお祈いします。

《履歴》

昭和56年 新潟大学医学部医学科卒業
新潟大学医学部産婦人科
昭和59年 国立香川医科大学
平成2年 香川県立がん検診センター
平成7年 香川医科大学
平成15年 新潟県立中央病院

公立高島総合病院
産婦人科を再開します

休診によりご迷惑とご心配をおかけしました公立高島総合病院の産婦人科診療は、黒瀬高明 産婦人科科長の着任により、4月3日(火)から婦人科外来を再開しました。また、早期再開に向け取り組んでいましたお産取り上げについては5月21日(月)より再開します。

今後とも安心安全な医療の提供に取り組んでまいりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。詳しくは公立高島総合病院産婦人科外来までお気軽にお問い合わせください。
☎(075)360220

